

健診検査センターニュース

No.487 号

運営委員会より

2月21日（木）平成24年度第11回の委員会を開催いたしました。

1. 特定健診1月の実施件数は、下記のとおりでした。

	1月受診数（前年比）	累計（前年比）	函館市国保受診率
函館市国保	1,335人（+452）	10,652人（+401）	1月現在 18.4% / 目標 30.0% 達成率：61.3%
後期高齢者	139人（+2）	2,502人（+380）	
その他	98人（-5）	1,711人（+2）	
合計	1,572人（+449）	14,865人（+783）	

個別健診実施機関：97施設／登録機関110

- 1月の受診者数は、受診勧奨ハガキの送付により国保で452人の増加となりました。2月も引続き受診される方が増えております。ご協力の程よろしくお願い申し上げます。
- 前回ご案内いたしました、25年度の「社保等の被扶養者」に関する、北海道医師会との「特定健康診査 集合B契約」につきましては、当センターを含め110医療機関様の登録をいただきました。お礼申し上げます。
- 次に、25年度「函館市国保・後期高齢者・生活保護受給者」に関する「特定健康診査実施医療機関の登録」につきましては、3月の「函医ニュース」でご案内いたしますので、よろしくお願い申し上げます。

2. 25年1月の健診検査事業収入は、下記のとおりでした。

	1月（前年同月比）	24年度累計（前年比）
一般検査収入	103.5 %	101.7 %
健診収入	129.8 %	103.6 %
合計	115.2 %	102.5 %

- 3. 平成25年度の収支予算案につきましては、協議し可決承認いたしました。2月26日（火）理事会に上程されます。
- 4. 平成25年度 特定健康診査の実施について、①第2期特定健康診査実施計画の概要、②特定健康診査結果通知書のレイアウトの変更、③生活機能評価の削除、④心機能オプション検査のBNPからNT-ProBNPへの変更、⑤ABC検診の追加の確認、⑥特定健康診査並びに集団がん検診の料金等について協議し承認されました。詳細につきましては、実施医療機関が決まり次第、ご案内申し上げます。
- 5. その他
臨時職員2名の退職と臨時職員3名の採用が報告されました。

《 ちょっと一言 》

北海道の長い冬も、もう少し・・・のはずですが、この雪なんですかね・??毎度、平山です。

特定健診者数は、受診勧奨はがきの影響が大きく、1月、2月とも受診者数が増加しておりますが、今年の当施設の目標値である30%には到達できそうもない現状です・・・。国の目標である70%なんて数字を到達できる市町村はあるのでしょうか？ 次年度はスタートダッシュをすべく、対策を真剣に運営委員会でも話し合う必要がありますね！！（・・・時々、話し合いになるのですが、毎回、尻切れトンボ状態で話し合いが終わってしまう感があるので、次年度は1年を見越したトータル的な戦略を早くに徹底したいものです・・・。）

今後とも皆様方のご協力の程、よろしくお願いいたします。

話は変わって、宣伝、告知です！！

「第2回日医連医政活動研究会（北海道ブロック研究会）」が開催されます。

3月16日（土）16：00～18：50

札幌グランドホテルを本会場に、函館では函館市医師会館にてTV会議システムを使って中継されます。

基調講演：「わが国の医療の再生、発展について」梅村聡 参議院議員

シンポジウム：「北海道の医療事情—どうする医師の偏在！」と題して、私、司会やらせて頂きます。これは、医師会の立場から、大学の立場から、行政の立場からと、3名のシンポジストからご発言を頂き、その後、自由発言で討論していくという内容になっております。最後に総括として、日本医師連盟委員長であります、横倉義武先生からご発言頂く予定になっております。

折角の土曜日、夕方ではありますが、お時間が許せば是非ご出席頂きたく思います。

よろしくお願いいたします。

あ～、今日は書きたい事が沢山！！フォント小さくしよう・・・！！

この1週間前の土曜日、3月9日には北海道医師会定時代議員会が午後3時から、北海道医師会館で開催されます。今回は北海道医師会会長をはじめとする役員等の選挙が行われる予定になっております。このちょっと一言のコーナーをお読み下さっている方で、この役員選挙に関して、どれだけの方が、ご興味を持ち内容をご存知の方がいらっしゃるでしょうか？大勢いらっしゃったら大変申し訳ございませんが、残念ながらそうは思えません・・・。そんなところが医師会活動において距離をおいてしまう一因ではなかろうかと思えます。また、両方の会の開催時間も土曜日の午後3時、4時からの開催です。この会に参加するため、私は両日、午前診療を早く切り上げて参加する予定です。広く参加者を募るのであれば、せめてもう少し遅い時間からの開催にしては如何な物でしょうか？これこそ、まさに医師の偏在と同様、中央主体の考えであり、地方においては興味と活動を遠ざけていく要因であると思えます・・・。言い過ぎましたか・・・？（笑）熱く語っていたら、さっきまで降っていた雪も止み、道の雪も溶けてきました・・・。

やっぱり、春はもうすぐなんですね！！

（文責 広報部 平山繁樹）

検査内容変更のお知らせ

平素より当センターをご利用いただきまして、誠にありがとうございます。
この度、下記の検査項目内容を変更させて頂くことになりましたので、お知らせ致します。
何卒、ご了承賜りますようお願い申し上げます。

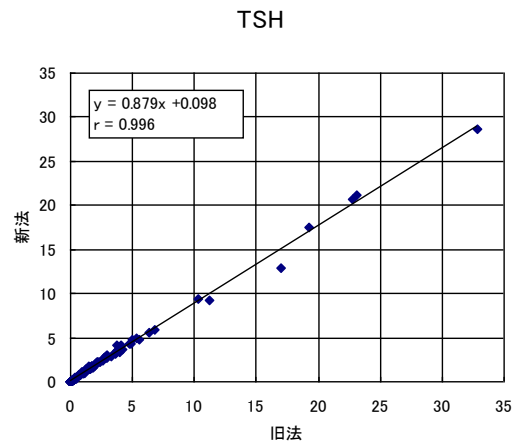
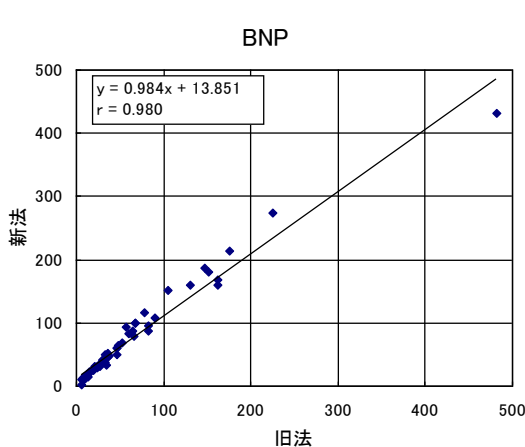
変更日：平成25年3月11日(月) 受付分より

変更項目：2539 脳性Na利尿ペプチド (BNP)

	(新)	(旧)
検査方法	CLEIA	CLIA
基準値	18.4 以下 pg/mL	
所要日数	2日	
測定感度	2.0 ~ 5000 pg/mL	5.8 ~ 2902 pg/mL
実施料 (判断料)	140点 生化学的検査(Ⅱ)判断料 144点	
備考	測定機器変更の為、低域から高域まで幅広く測定可能	

変更項目：1490 甲状腺刺激ホルモン (TSH)
1500 甲状腺刺激ホルモン (TSH)

	(新)	(旧)
検査方法	ECLIA	CLEIA
基準値	前 0.50 ~ 5.00 μ IU/mL	前 0.50 ~ 4.30 μ IU/mL
所要日数	2日	
実施料 (判断料)	115点 生化学的検査(Ⅱ)判断料 144点	
備考	測定機器変更の為、非特異反応を抑え、精度を向上させた測定法に変更させていただきます。	

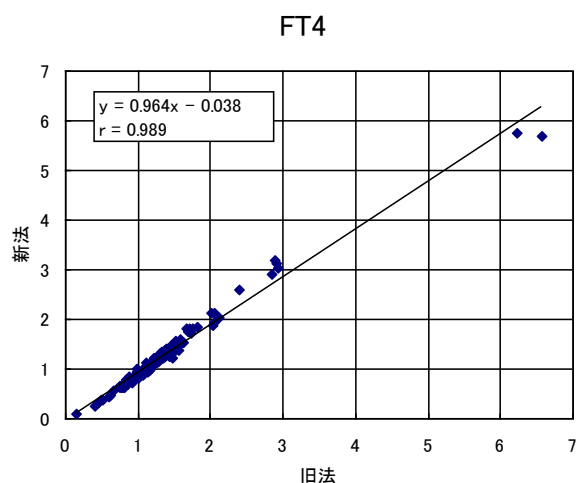
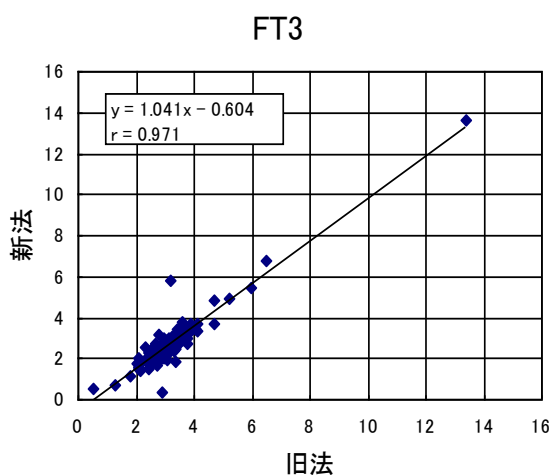


変更項目： 1485 遊離トリヨードサイロニン (Free-T3)

	(新)	(旧)
検査方法	ECLIA	CLEIA
基準値	2.30 ~ 4.00 pg/mL	2.30 ~ 4.10 pg/mL
所要日数	2日	
実施料 (判断料)	140点 生化学的検査(Ⅱ)判断料 144点	
備考	測定機器変更の為、非特異反応を抑え、精度を向上させた測定法に変更させていただきます。	

変更項目： 1486 遊離サイロキシシン (Free-T4)

	(新)	(旧)
検査方法	ECLIA	CLEIA
基準値	0.90 ~ 1.70 ng/dL	0.70 ~ 1.70 ng/dL
所要日数	2日	
実施料 (判断料)	140点 生化学的検査(Ⅱ)判断料 144点	
備考	測定機器変更の為、非特異反応を抑え、精度を向上させた測定法に変更させていただきます。	



変更項目： 2533 抗サイログロブリン抗体

	(新)	(旧)
検査方法	ECLIA	CLEIA
基準値	28 未満 IU/mL	50.0 以下 IU/mL
所要日数	2日	
実施料 (判断料)	150点 免疫学的検査判断料 144点	
備考	測定機器変更の為、非特異反応を抑え、精度を向上させた測定法に変更させていただきます。	

		旧法		
		≤50.0	50.1≤	合計
新法	<28	25	0	25
	28≤	1	55	56
	合計	26	55	81

一致率： 98.8%

変更項目： 2314 抗甲状腺ペルオキシダーゼ抗体(抗TPO抗体)

	(新)	(旧)
検査方法	ECLIA	CLEIA
基準値	16 未満 IU/mL	10.0 以下 IU/mL
所要日数	2日	
実施料 (判断料)	150点 免疫学的検査判断料 144点	
備考	測定機器変更の為、非特異反応を抑え、精度を向上させた測定法に変更させていただきます。	

		旧法		
		10.0≥	10.1≤	合計
新法	<16	32	1	33
	16≤	0	52	52
	合計	32	53	85

一致率： 98.8%

変更項目： 1733 HBs 抗原 定量

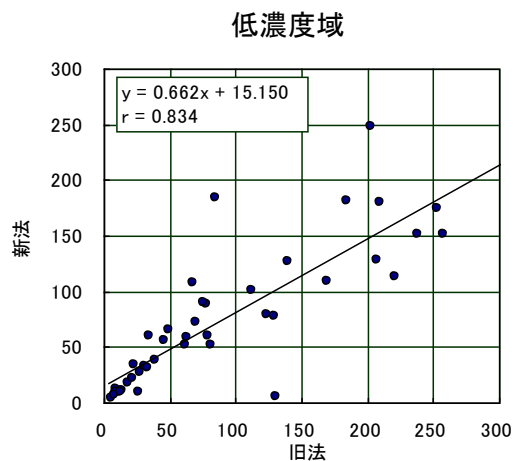
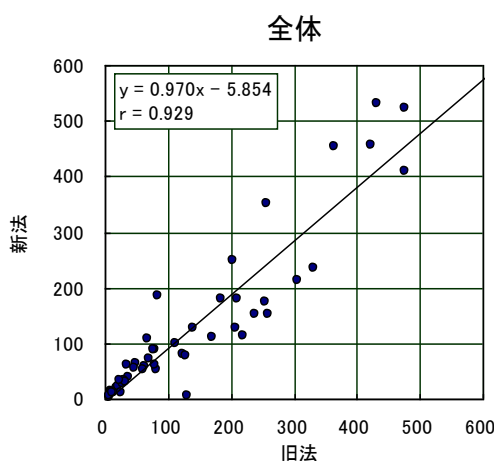
	(新)	(旧)
検査方法	CLIA	CLEIA
基準値	0.05 未満 IU/mL	1.0 未満 C.O.I
所要日数	2日	
実施料 (判断料)	88点 免疫学的検査判断料 144点	
備考	測定機器変更の為、旧法はカットオフインデックス(COI)の半定量値として報告していましたが、新法からはIU/mLの定量値として報告いたします。日本肝臓学会よりB型肝炎治療ガイドラインで謳っている定量法へと変更になります。	

		旧法	
		<1.0	1.0≤
新法	<0.05	74	2
	0.05≤	1	21

一致率： 96.9%

変更項目： 4202 リウマチ因子定量 (RF定量)

	(新)	(旧)
検査方法	ラテックス凝集比濁法	TIA法(免疫比濁法)
基準値	15 以下 IU/mL	10 以下 IU/mL
所要日数	2日	
測定範囲	0 ~ 600 IU/mL	3 ~ 300 IU/mL
実施料 (判断料)	30点 免疫学的検査判断料 144点	
備考	低域から高域まで良好な直線性を示し、プロゾーンが起こりにくい試薬へと変更	



変更項目： 1671 血中HCG

	(新)	(旧)
検査方法	ECLIA	CLIA
基準値	5.0 以下 mIU/mL	
所要日数	2日	3日
実施料 (判断料)	150点 生化学的検査(Ⅱ)判断料 144点	
備考	測定機器変更の為	

変更項目： 1670 尿中HCG

	(新)	(旧)
検査方法	ECLIA	CLIA
基準値	3.0 以下 mIU/mL	5.0 以下 mIU/mL
所要日数	2日	3日
実施料 (判断料)	150点 生化学的検査(Ⅱ)判断料 144点	
備考	測定機器変更の為	

変更項目： 3265 HIV 抗原・抗体

	(新)	(旧)
検査方法	CLEIA	CLIA
基準値	1.0 未満 C.O.I.	1.00 未満 S/CO
所要日数	2日	
実施料 (判断料)	127点 免疫学的検査判断料 144点	
備考	測定機器変更の為	

		旧法	
		陽性	陰性
新法	陽性	58	0
	陰性	0	96

一致率： 100%

変更項目： 1749 HCV抗体

	(新)	(旧)
検査方法	CLEIA	CLIA
基準値	1.0未満 C.O.I.	1.0未満 S/CO
所要日数	2日	
実施料 (判断料)	120点 免疫学的検査判断料 144点	
備考	測定機器変更の為	

		新法	
		陰性	陽性
旧法	陰性	730	0
	陽性	8	16

一致率は98.9%

不一致検体の8例についての精査した結果を下記に示し、HCV RIBAⅢテストとHCV コア抗原の確認を実施した結果です。

	旧法	新法	HCV RIBAⅢ						判定	コア抗原	
			c100p	c33c	c22p	NS5	SOD				
1	2.9	0.1	-	-	-	-	-	-	陰性	検出感度以下	
2	1.4	0.1	±	±	-	±	-	-	陰性	検出感度以下	
3	2.8	0.1	-	±	-	±	-	-	陰性	検出感度以下	
4	1.0	0.4	-	±	±	±	-	-	陰性	検出感度以下	
5	2.5	0.7	-	±	-	±	-	-	陰性	検出感度以下	
6	2.0	0.8	±	±	1+	±	±	±	判定保留	検出感度以下	
7	2.4	0.1	-	±	-	±	-	-	陰性	検出感度以下	
8	2.3	0.6	検体量不足の為、検査できず								

RIBAⅢテストの解釈

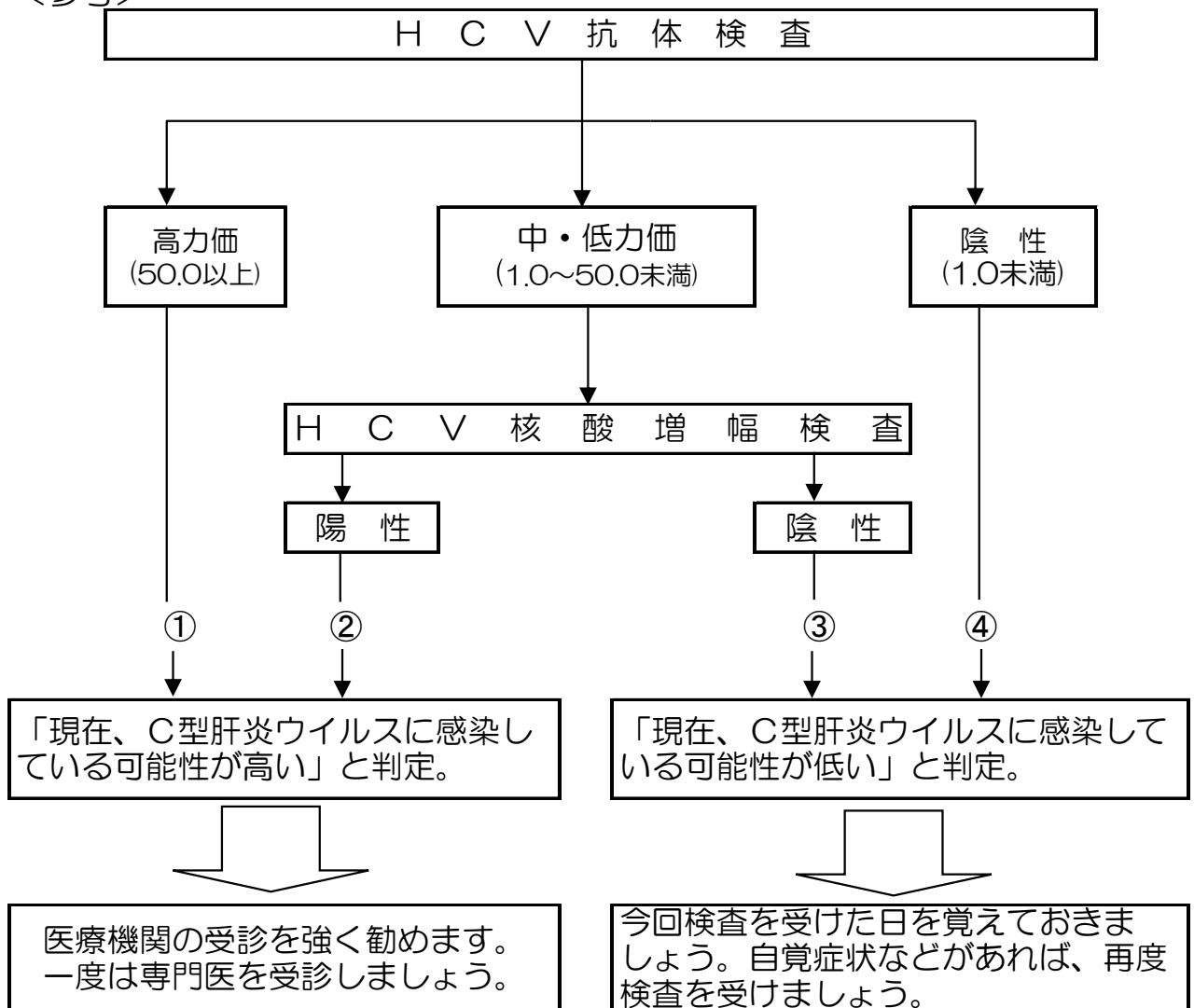
4種類の抗原バンドのうち、2種類以上が1+以上の発色	陽性
4種類の抗原バンドのうち、1種類以上が1+以上の発色	判定保留
1種類以上の抗原バンドが1+以上かつ、SODバンドが1+以上の発色	
4種類の抗原バンドがすべて1+未満	陰性

C型肝炎検診フローチャート

判定結果(C型肝炎ウイルス検査)

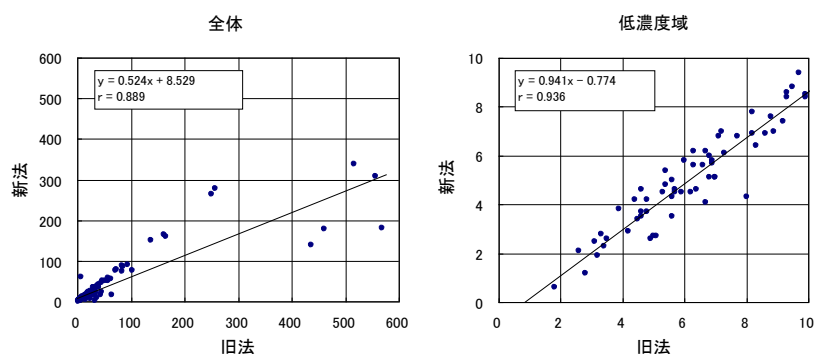
1. 「現在、C型肝炎ウイルスに感染している可能性が高い」と判定されました。
判定理由 ① ②
2. 「現在、C型肝炎ウイルスに感染している可能性が低い」と判定されました。
判定理由 ③ ④

<参考>



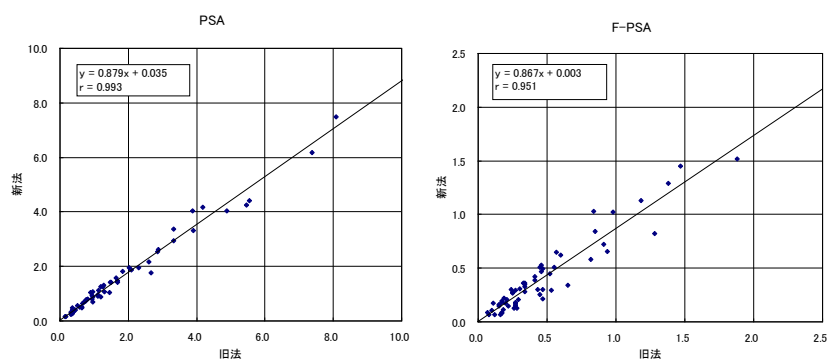
変更項目： 1400 インスリン (IRI)
 1340 インスリン (IRI)
 1350 インスリン (IRI)

	(新)	(旧)
検査方法	CLEIA	CLIA
基準値	1.1 ~ 9.0 μ U/mL	5.0 ~ 10.0 μ U/mL
所要日数	2日	
実施料 (判断料)	120点 生化学的検査(Ⅱ)判断料 144点	
備考	測定機器変更の為 ※旧法の試薬は内因性(膵臓産生インスリン)と外因性(アナログ製剤)両方を測定する試薬を使用しており、新法の試薬は内因性(膵臓産生インスリン)のみ測定する試薬へと変更になります。	



変更項目： 3164 PSA
 3165 F-PSA
 3166 F/T比

	(新)	(旧)
検査方法	ECLIA	CLIA
基準値	PSA 4.0 以下 IU/mL F/T比 0.18 以上 (診断感度 90%)	
所要日数	2日	
実施料 (判断料)	140点 生化学的検査(Ⅱ)判断料 144点 悪性腫瘍特異物質治療管理料	
備考	測定機器変更の為	



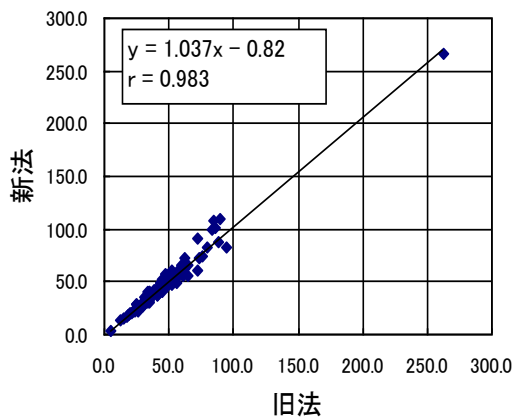
変更項目： 3902 ペプシノゲン (PG)

	(新)	(旧)
検査方法	CLIA	ラテックス免疫比濁法
基準値	下記参照	
所要日数	2日	
実施料 (判断料)	未収載	
備考	測定機器変更の為	

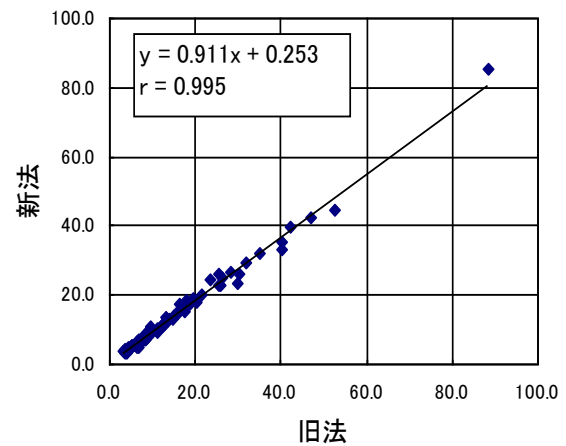
基準値

		ペプシノゲン I	ペプシノゲン I / II 比
陽性	3+	30 以下 ng/mL	かつ 2.0 以下
	2+	50 以下 ng/mL	かつ 3.0 以下
	+	70 以下 ng/mL	かつ 3.0 以下
陰性	—	上記条件以外	

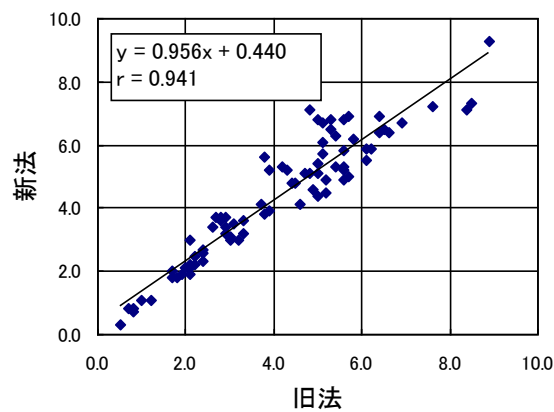
PG I



PG II



PG I / PG II 比



検査項目の外部委託移行のお知らせ

平素より当センターをご利用いただきまして、誠にありがとうございます。
この度、下記の検査項目につきまして外部検査へ移行させていただくことになりましたので、お知らせ致します。何卒、ご了承賜りますようお願い申し上げます。

変更日 : 平成25年3月11日(月) 受付分より

変更項目 : 1701 IgG

	(新)	(旧)
検査方法	T I A	
基準値	870 ~ 1700 mg/dL	
所要日数	5日	2日
実施料 (判断料)	38点 免疫学的検査判断料 144点	
備考	受託数僅少の為、外部検査へ移行	

変更項目 : 1702 IgA

	(新)	(旧)
検査方法	T I A	
基準値	110 ~ 410 mg/dL	
所要日数	5日	2日
実施料 (判断料)	38点 免疫学的検査判断料 144点	
備考	受託数僅少の為、外部検査へ移行	

変更項目 : 1703 IgM

	(新)	(旧)
検査方法	T I A	
基準値	M : 33 ~ 190 mg/dL F : 46 ~ 260 mg/dL	35 ~ 220 mg/dL
所要日数	5日	2日
実施料 (判断料)	38点 免疫学的検査判断料 144点	
備考	受託数僅少の為、外部検査へ移行	

変更項目： 1276 エラスターゼ1

	(新)	(旧)
検査方法	LIA	
基準値	300以下 ng/dL	
所要日数	5日	2日
実施料 (判断料)	135点 生化学的検査(Ⅱ)判断料 144点 悪性腫瘍特異物質治療管理料	
備考	受託数僅少の為、外部検査へ移行	

変更項目： 3212 シスタチンC

	(新)	(旧)
検査方法	金コロイド凝集法	LIA
基準値	M : 0.63 ~ 0.95 mg/L F : 0.56 ~ 0.87 mg/L	0.57 ~ 1.01 mg/L
所要日数	5日	2日
実施料 (判断料)	130点 生化学的検査(Ⅰ)判断料 144点	
備考	受託数僅少の為、外部検査に移行	

変更項目： 1078 銅 (Cu)

	(新)	(旧)
検査方法	比色法	
基準値	68 ~ 128 $\mu\text{g/dL}$	78 ~ 131 $\mu\text{g/dL}$
所要日数	5日	2日
実施料 (判断料)	23点 生化学的検査(Ⅰ)判断料 144点	
備考	受託数僅少の為、外部検査に移行	

変更項目： 1046 アルドラーゼ (ALD)

	(新)	(旧)
検査方法	UV-酵素法	
基準値	2.1 ~ 6.1 U/L	2.1 ~ 6.5 IU/L
所要日数	5日	2日
実施料 (判断料)	11点 生化学的検査(Ⅰ)判断料 144点	
備考	受託数僅少の為、外部検査へ移行	

変更項目： 1223 N-アセチルグルコサミニダーゼ (NAG)

	(新)	(旧)
検査方法	比色法	MPT-NAG基質法
基準値	7.0 以下 U/L	6.5 以下 U/L
所要日数	5日	2日
実施料 (判断料)	41点 尿・糞便等検査判断料 34点	
備考	受託数僅少の為、外部検査へ移行	

新規実施検査項目のお知らせ

平素より当センターをご利用いただきまして、誠にありがとうございます。
この度、下記の検査項目を外注しておりましたが、当センターにおいて検査することとなりましたのでお知らせ致します。何卒、ご了承賜りますようお願い申し上げます。

開始日： 平成25年3月11日(月) 受付分より

開始項目： 1287 CA15-3

	(新)	(旧)
検査方法	CLEIA	
基準値	25.0 以下 U/mL	
所要日数	2日	5日
実施料 (判断料)	130点 生化学的検査(Ⅱ)判断料 144点 悪性腫瘍特異物質治療管理料	
備考	所要日数短縮	

開始項目： 3230 CA72-4

	(新)	(旧)
検査方法	ECLIA	
基準値	10.0 以下 U/mL	
所要日数	2日	6日
実施料 (判断料)	150点 生化学的検査(Ⅱ)判断料 144点 悪性腫瘍特異物質治療管理料	
備考	所要日数短縮	

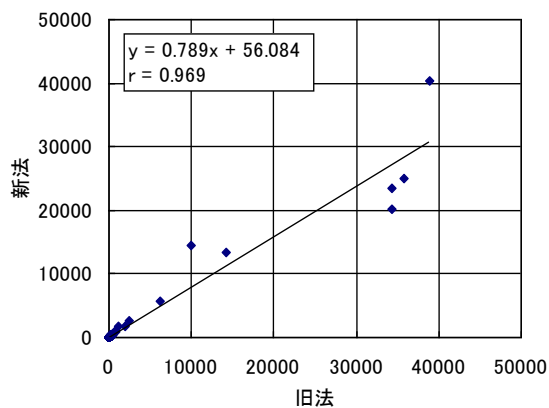
開始項目：1737 HBc 抗体

	(新)	(旧)
検査方法	CLIA	
基準値	1.00 未満 S/CO	
所要日数	2日	5日
実施料 (判断料)	150点 免疫学の検査判断料 144点	
備考	所要日数短縮	

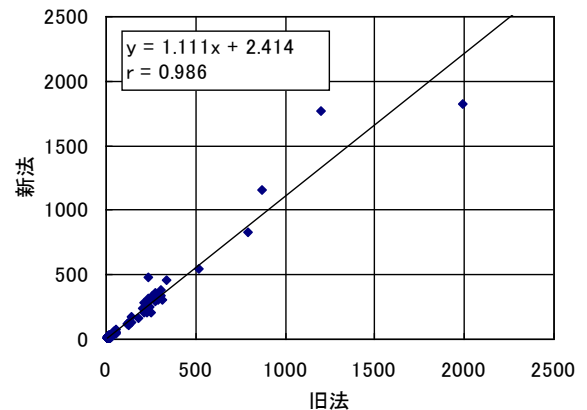
開始項目：1289 PIVKA-II

	(新)	(旧)
検査方法	CLEIA	ECLIA
基準値	40 未満 mAU/mL	
所要日数	2日	6日
実施料 (判断料)	150点 生化学の検査(Ⅱ)判断料 144点 悪性腫瘍特異物質治療管理料	
備考	所要日数短縮	

全体



低濃度域



開始項目： 3260 脳性Na利尿ペプチド前駆体
N端フラグメント (NT-proBNP)

	(新)	(旧)
検査方法	ECLIA	
基準値	125以下 pg/mL	
所要日数	2日	5日
実施料 (判断料)	140点 生化学的検査(Ⅱ)判断料 144点	
備考	所要日数短縮	

開始項目： 2794 副甲状腺ホルモン (PTH) -インタクト

	(新)	(旧)
検査方法	ECLIA	
基準値	10 ~ 65 pg/mL	
所要日数	2日	6日
実施料 (判断料)	186点 生化学的検査(Ⅱ)判断料 144点	
備考	所要日数短縮	

公益社団法人函館市医師会 函館市医師会健診検査センター
TEL 0138-57-6571 • FAX 0138-57-6580
E-mail : info@hma-labo.jp